平成19年11月1日

さい議会だより

No.139

ＡＥＤを使った救急救命訓練（9月30日防災訓練）【関連記事：12ページ】

9月定例会

平成18年度決算を認定…. 2ページ
水産振興事業に期待…. 6ページ
保育所建設は十分検討を…10ページ

・発行 佐井村議会 ・編集 議会広報編集委員会 ・〒039-4711 青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森20 TEL0175-38-2111 FAX0175-38-2492

平成18年度 一般会計は黒字決算

平成十九年第三回定例会は、九月七日から十二日までの六日間の会期で行なわれました。

村長から承認一件、平成十八年度各会計決算認定六件、補正予算案三件、条例案一件、教育委員の人事案件一件が提出され、それぞれ原案どおり決しました。

なお、九月十日に開催した夜間議会（一般質問）は八ページから掲載しています。

会計		歳入	歳出	歳入歳出差引額	基金繰入額
一般会計		2,398,699,826	2,313,948,474	84,751,352	29,885,000
特別会計	簡易水道	132,684,175	132,684,175	0	
	下水道	269,057,784	269,057,784	0	
	国民健康保険	435,824,670	428,031,832	7,792,838	3,896,838
	老人保健	359,875,665	359,875,665	0	
	介護保険	236,696,668	225,605,919	11,090,749	5,545,749

（単位：円）

平成18年度決算審査報告 徹底した行財政改革を

歳入は、村税等の徴収率が前年を〇・九ポイント下回っている。また、奨学金の滞納も依然として高い水準にある。自主財源の確保と負担の公平を期すうえからも、関係法令等に基づき速やかな対応を図り、その減少に努めること。不納欠損処分は、時効中断の手続きを適時行なう等、安易に時効完成による不納欠損処分を行なうことがないように努めること。

歳出は、財政構造の硬直化が進んでいることから、事業の緊急性・重要性を考慮し、限られた予算を効率的・効果的に活用するよう望む。

地方分権改革の進む中、自治体には特色ある地域づくりが求められている。今後の行財政運営にあたって引き続き徹底した行財政改革を推進し、多様化・高度化する住民ニーズに適切に対応し、住民福祉の増進により一層努めるよう要望する。

また、懸案事項である公有財産の効率的運用や物品の管理体制については改善されているものの、今後とも万全を期すよう要望し、決算審査報告とする。

決算審査報告を述べる奥本紀代表監査委員

～一般会計決算審査～

「ほくと」の赤字補てんするのか

竹内委員
八月二十八日の報道によると、シィライン㈱の赤字三千七百万円を村とむつ市で負担するとのことであるが、財源はあるのか。

財源はない

村長
財源はないが、県に対して特別交付税での対応を要望している。

今後の赤字も補てんか

竹内委員
赤字が発生した場合、今後も援助をするのか。

県にも協力を要請する

村長
観光や生活、さらには大間原発の防災上でも重要な航路と考えているが、村とむつ市だけで維持していくことは不可能であるため、県にも働きかけていく。

今年度中に結論が出る

行財政改革室長
離島航路への協力を県に要望している。県も十分認識しており、今年度中に結論を出す見込みである。

約 3700 万円の赤字を抱える「ほくと」

奨学金滞納額が大幅に増加

非常に深刻な事態

川畑委員
奨学金の滞納額が大幅に伸びているが、今後の対策は。

努力している

村長
収納対策本部を組織し、努力はしているが厳しい状況である。滞納者に理解を得られるよう、対応する職員の増員も検討している。

奨学生への取り組みは

川畑委員
奨学生本人への取り組みはどうか。

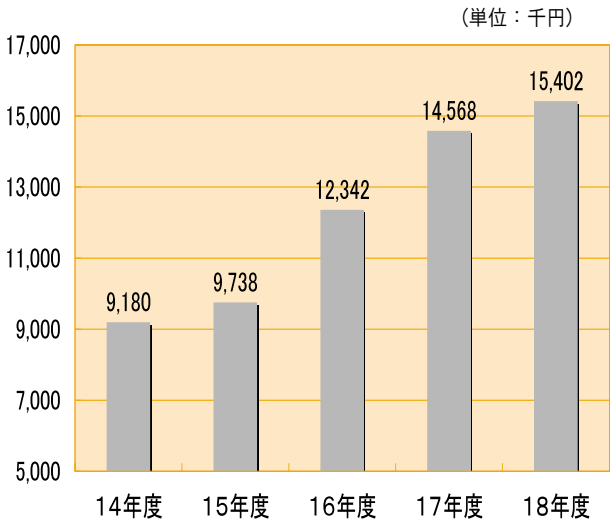
納入を促している

教育次長
直接電話で納入を促したり、保護者を通じて伝えている。

奨学生の自覚が問題

村長
奨学生の自覚が一番の問題である。借入申込みの時によく説明し、滞納の解消に努める。

決算における奨学金滞納額の推移



旧教員住宅を売却せよ

川畑委員
旧教員住宅購入の申し出があるが、国庫納付金の問題が残っている。村長の裁量で対応できないか。

一括納付も検討

村　長
購入希望者との話し合いで合意が得られれば、納付金の一括納付をしたい。

売却の手続きを進めたい

参事・総務課長
購入の確約と予算の調整ができれば、教育財産から普通財産への変更と同時に売却の手続きを進めたい。
また、納付金相当額を予定価格にしたいと考えている。

購入の申し出がある教員住宅（磯谷地区）

ごみ焼却場周辺 環境への影響が心配

川岸委員
中道地区のごみ焼却場が使用されなくなってから五年が経過する。周辺環境への影響が心配されるが、どのように取り組んでいくのか。

解体には1億円が必要

村　長
ダイオキシンの問題もあるが、解体には一億円が必要と見込まれており、対応できる状況にはない。同じ問題を抱える自治体と協力して国へ要望していく。

中道地区の旧ごみ焼却施設

糠森地区の県道 整備の状況は

川岸委員
糠森地区の県道整備事業は、今後どのような計画で進むのか。

平成20年度完成予定

産業建設課長
国道三三八号に接続する用地を除き、工事用地はすべて買収した。
平成二十年度、約一億三千万円で工事を実施し、完成する計画である。

工事は順調に進んでいる（漁業協同組合前）

予算・決算・条例等審査特別委員会

監査委員の厳しい指摘
収入未済・不納欠損対策は

坂井委員
収入未済額、不納欠損額について、税負担の公平性の観点から、監査委員の厳しい指摘がある。村長はどう受け止め、認識しているか。

努力しているが結果が出ない

村長
監査委員からの今回の指摘は、特に厳しいと認識している。
職員は納税義務を果たしてもらおうと精一杯努力しているが、なかなか結果が出ない。

収納体制の見直しは

坂井委員
監査委員からは収納体制の見直しも指摘されている。収納対策本部の見直しを促していると考えるが、どうか。

直接、指摘を受けていない

住民福祉課長
監査委員から直接そのような指摘は受けていない。
所得の減少による滞納者が増えているが、夜間徴収を実施しても徴収率が上がらない状況である。

※収入未済額
調定（予定される収入額を決定すること）を行なったが、納入されなかった歳入のこと。収入未済額は翌年度に繰り越され、督促等を行ない、徴収に努めなければならない。

※不納欠損額
調定された歳入について、徴収できないと認定された金額のこと。

漁業被害対策
トドの捕獲を

坂井委員
トドによる漁業被害対策として、捕獲が認められないのか。

1頭捕獲の見込み

村長
漁協組合長と共に東部海区漁業調整委員会に要請し、一頭は捕獲できる見込みである。

トドによる漁網被害は年々増加している

賛成討論
～平成18年度一般会計決算認定～
川畑勲夫委員

地方自治体の財政を取り巻く環境は、国の財政再建の下に行なわれた三位一体の改革により都市と地方の格差が一層顕著に現れ、とりわけ自主財源に乏しい我が村はじめ多くの自治体は身を削る思いをしながら行財政運営にあたっている。
また、地方自治体の財政の健全化に関する法律が公布された中で、平成十八年度一般会計歳入歳出決算において基金の増勢を図り、三年連続の単年度収支の黒字、二年連続の実質単年度収支の黒字を計上したことは将来の財政運営を視野に入れ、職員一人ひとりが常に危機感を抱き、住民の公僕として取り組んだ結果である。
私はここに村職員の努力に対し改めて敬意を表するとともに、これから「むらづくり基本条例」の下に一丸となって取り組んでいただくようお願いし、十八年度の決算を認定することに賛成する。

下水道事業特別会計決算審査

原田・川目地区の下水道整備は

川岸委員
原田地区、川目地区の下水道整備に要する経費は。

工事費は約5億円

産業建設課長
中道から原田地区まで二億八千万円、川目地区から浄化センターまで二億三千五百万円を見込んでいる。

計画の見直しは

川岸委員
原田地区、川目地区を対象に実施したアンケートでは、加入希望者が非常に少なかった。
計画の見直し等の議論をしているのか。

合併浄化槽への移行も検討

村長
平成二十年度には原田地区の実測に入る計画であるが、聞き取り調査等を実施し、合併浄化槽への移行も含めて検討したい。

地区説明会で意見を把握する

産業建設課長
平成二十年度までに最終変更認可を得る必要があるため、地区説明会で住民の意見を把握したい。

古佐井地区の下水道工事は順調に進んでいる

合同常任委員会活動報告

水産振興事業に期待

去る六月六日、漁業協同組合が行なう水産振興事業についての説明を受けたので、その結果を報告する。
この事業は、水産振興基金六億二千二百万円の一部を取り崩して行なう計画であり、五月には電源開発㈱大間原子力建設準備事務所から「議会の同意が得られ、水産振興を図る事業を実施するのであれば異論はない」との回答を得ている。今年度中に協定書の変更等、諸手続きを行ない、実施が可能な事業は実施したい、とのことであった。
計画されている事業は、ウニ移殖放流事業、アワビ稚貝購入事業、ナマコ及び布海苔の種苗試験事業、水産物付加価値事業・もずくラーメン製品開発等で、これらは女性や高齢者でも従事できる事業であり、三年後には浜に活気を取り戻すことを目的としているとのことであるが、現在の厳しい漁業環境の打開策となる可能性をも持っているので、漁業協同組合の役職員、組合員の皆さんが総力を上げて取り組み、佐井村の水産振興に大きな成果をもたらすことを期待する。
また、田中組合長から、トドや大型クラゲによる被害が年々深刻になっているため、その対策として強化網の導入を検討しているが、導入には多額の費用を要し、個人での購入は厳しい状況にある、との報告もあったので、行政並びに関係各機関の協力を得ながら早急に対応することを要望する。

好評だった「もずくラーメン」の試食会

平成１９年度補正予算

会　　計	予算額	補正額	補正後の予算額
一般会計	2,417,103,000円	45,010,000円	2,462,113,000円
主な内容	児童・生徒大会派遣援助費等 1,021,000円 三上剛太郎生家展示用掛け軸複製費用 328,000円 財政調整基金(※)積立金 31,732,000円		
下水道事業	235,667,000円	529,000円	236,196,000円
主な内容	浄化センター等光熱水費 868,000円 平成18年度債貸付利子率確定による償還金利子 △339,000円		
介護保険	230,467,000円	8,209,000円	238,676,000円
主な内容	地域密着型介護サービス給付費負担金 2,500,000円 平成18年度実績による国庫・県支出金の返還金 7,215,000円		

※財政調整基金･･･年度間の財源の不均衡を調整するために積立てておく資金のこと

みんなでおまつりを見に行ったよ
（佐井村保育所うさぎ

三上剛太郎生家 展示品が不足

川岸委員　三上剛太郎生家の展示品に物足りなさを感じているが、三上氏から展示物の提供を得られないのか。

掛け軸の複製を製作

村　長　掛け軸をお借りして複製を展示するほか、書籍類、置物、当時使った弁当箱や天秤ばかりの提供を受けている。

保育所建設 もっと情報公開を

川岸委員　保育所の建設について、候補地の選定が進められていながら何の説明もない。むらづくり基本条例の趣旨に沿い、情報公開をしながら進めるべきではないか。

努力する

村　長　今後、そのように努める。

新教育委員に 坂井一尚氏（牛滝）

田中豊衛氏の辞職により欠員となっていた教育委員に、坂井一尚氏を任命することに同意しました。

坂井一尚氏

夜間議会26人傍聴

九月十日（月）午後六時、残暑の厳しい折、夜間議会（一般質問）を二十六名の皆さんに傍聴していただきました。

十二月定例会は、十二月中旬の予定です。皆さんの議会傍聴をお待ちしております。

工藤明道議員

むらづくり基本条例 住民に理解求めよ

工藤議員
むらづくり基本条例を住民に理解してもらうため、どのような施策を考えているのか。

変化を感じる施策を展開する

村長
住民、村長、議員、村職員の四者の意識改革を行ない、住民が変化を感じられるような施策を展開する。

子どもたちに10年後、20年後の明るい未来を

役場内の取り組みは

工藤議員
役場内ではどのような取り組みを行なうのか。

ハンドブックを作成

村長
職員向けのハンドブックを作成し、情報共有の実践に向けた研修を開催する。
また、公共施設に専用コーナーの設置、職員が講師となった出前講座を計画している。

シンポジウムの開催は

工藤議員
住民に関心を持ってもらうため、村民全員参加によるシンポジウム等を開催してはどうか。

10月に開催したい

村長
可能であれば、十月に開催したい。

住民提案型事業は

工藤議員
「住民提案型事業」は、いつ実施するのか。

平成20年度から実施する

村長
平成二十年度から、各地区・町内会の事業提案を受け付け、一団体十万円から二十万円を限度として助成する計画である。百万円から二百万円の予算措置を考えている。

「広報さい」住民に身近な話題を

工藤議員
「広報さい」は住民に身近な話題を伝え、ホームページでは村の風景や行政情報の開示を行なうべきと思うが。

住民に親しまれる広報紙にしたい

村長
「広報さい」を単なるお知らせ広報ではなく、各地区や町内会の話題を掲載し、住民に親しまれるものにしたいと考えている。
また、ホームページは新年度からのリニューアルに向けた検討を行なっている。

現在の佐井村のホームページ

村の将来展望は

工藤議員
村長は、むらづくり基本条例の施行による村の将来をどのように展望しているか。

数年後の明るい未来を展望

村長
条例を実践していくことで、十年後、二十年後の明るい展望が持てるような村にしていきたい。

川畑勲夫議員

大雨による被害発生

古佐井川の河川改修は

川畑議員　古佐井川焼山支流の河川改修の経過と現状はどうなっているのか。

平成11年度まで県が工事

村　長　平成十一年度まで、県が主体となって焼山橋から二又橋までの対岸工事を実施した。二又橋は平成十一年の大雨で決壊し、架け替えしている。

平成十二年度以降も焼山沢砂防工事を実施する計画があったが、土地関係者からの理解を得ることができず、整備されていない。

早期に整備すべき

川畑議員　地形的に蛇行が大きく、八月九日から十日にかけての豪雨でも被害が出ている。

早期に整備工事に着手すべきである。

県に要望する

村　長　県へ要望していく。

災害復旧事業の対象か

川畑議員　豪雨で受けた被害は、災害復旧事業の対象となるのか。

県土整備部の指導を受ける

村　長　十月二日から四日にかけて災害査定が実施される。下北地域県民局（県土整備部）の指導を受けながら災害復旧工事等を計画していきたい。

水源涵養保安林の状況は

川畑議員　水源涵養保安林の状況はどうか。また、今後どう取り組むのか。

分収育林になっている

村　長　水源地周辺の保安林は分収育林となっていることから、伐採等にあたっては下北森林管理署と協議する。

水源涵養保安林とは？

伐採などすべての開発を規制し、水源を確保することを目的として、法により指定を受けた森林のこと。

8月9日の大雨で浸食された林道（古佐井川焼山沢）

保育所建設計画
十分な検討が必要

竹内 修議員

竹内議員　電源立地地域対策交付金の公共用施設整備事業における保育所の計画は。

平成21年度の建設を予定

村長　平成二十年度に設計を行ない、平成二十一年度、約二億七千万円での建設を予定している。

村有財産を有効に活用せよ

竹内議員　合併問題の先行きが見えない現在、村有財産を有効的に活用すべきと思うが。

ひよこ組のお昼寝の様子

幅広く意見を聞く

村長　住民や議員から幅広い意見を聞きながら進める。
また、佐井診療所統合後の施設の利活用、レディスファッション跡地や「あすなろ」の有効利用も協議している。

農業センター改築できないか

竹内議員　基準や制約があるとは思うが、経費節減のため農業研修センターを利用できないか。

町内会等で利用している

村長　農業研修センターは、農協や町内会等で利用している現状がある。

民間への委託は

竹内議員　保育所建設と同時に、運営を民間業者に委託すれば人件費等の軽減にもつながるのではないか。

計画している

村長　民間への委託を計画している。

建設予定地への交渉は

竹内議員　建設を予定している土地の地権者には交渉をしているのか。

理解を求めている

村長　計画への理解を求めている。

医療統合後の患者送迎は

竹内議員　診療所が大間病院へ統合されるが、患者送迎への考えは。

片道100円の送迎バスを計画

村長　患者送迎バスを、業者委託により運行する計画であり、片道百円の患者負担を検討している。

大間病院までの通院が患者の負担になることが予想される

8月9日大雨被害 今後の対策は

竹内議員
八月九日から十日にかけての豪雨による被害は、側溝や農業用水路から水があふれ出たことが原因と考えられる。
今後の対策を考えているか。

中道の用排水路 整備が必要

村長
中道地区の用排水路は、整備の必要がある。
また、管理について、水利組合、県、村の責任を明確にしていく。

放水口が足りないのでは

竹内議員
農業用水路の放水口が足りないのではないか。

関係機関と協議していく

村長
耕作者の意見をふまえ、関係機関と協議していく。

土のう堆積場所設けるべき

竹内議員
今回の水害では、土のうによって被害が軽減した。浸水した地域に土のうの堆積場所を設けてはどうか。

協議が必要

村長
耐用年数の問題もあるので十分協議していく必要がある。

磯谷漁港の土砂流出は

竹内議員
磯谷漁港内への土砂流出は、山肌の露出が原因か。

地すべり防止工事を実施

村長
磯谷地区やさ沢は、平成二十年度に地すべり防止工事を実施する。

急傾斜地対策事業でも対応する

産業建設課長
神社下の斜面は、平成二十年度に急傾斜地対策事業で対応する。
また、親水沢は谷止工の工事中である。

水路から雨水があふれた水田（中道地区）

大間原子力発電所サイト見学レポート

早期着工を望む

大間原子力発電所対策特別委員会 副委員長 竹内 修

大間原子力発電所の事務棟は、高さ十八m、五千七百㎡の地上四階建て、鉄筋コンクリート造りである。建物の上部には大間と東京本社間で情報のやり取りができる無線回線を確保するための高さ五十mの通信鉄塔が設置されている。また、主建屋の基礎掘削は各種許認可の手続き終了後の着手を予定しており、原子炉建屋の最も深い部分は二十五m、タービン建屋では三十mになると見込まれている。建屋建設地点の岩盤質は、仏ヶ浦付近と同じ凝灰岩の一種だという。なお、工事に使用する電力は、旧川内町から佐井村を経て供給し、サイト内に六十六kVの電源を確保するとのことである。

準備工事全体の進捗率は、八月二十日現在で九十七%であり、荷揚げ用の千二百tクレーンの基礎工事、敷地造成の残りの工事等を実施中であった。

準備工事も着々と進み、完成に近づいてきたように見受けられた。工事にあたっては安全第一を最優先に、周辺環境への影響に十分配慮し、一日も早い本体工事への着工を望む。

準備工事の97%は完了している

宮川 尚議員

特別養護老人ホーム 建設は順調か

宮川議員
特別養護老人ホーム建設は、計画どおり進むのか。

平成20年3月 完成予定

村長
定員二十九、短期入所十床、約千六百七十五㎡の鉄骨造である。
十月二日に入札を行ない、十月中に着工し、平成二十年三月二十日に完成すると伺っている。

吉幸会による施設の建設説明会
（原田地区生活改善センター）

利子補給は

宮川議員
施設経営者への利子補給はどうなるのか。

入札後に 金額が決まる

村長
落札金額により、村の負担額は変わる。

多少の増額が 見込まれる

住民福祉課長
入札のための設計書によると、外構工事とスプリンクラー設置を加えているため、多少増額している部分がある。

ＡＥＤを設置せよ

宮川議員
医療統合によって救急救命体制の低下が心配されるが、それに対応するＡＥＤを設置する考えはないか。

平成20年度 助成事業で対応

村長
平成二十年度、コミュニティ助成事業で各地区へ設置する計画である。仮に助成が受けられない場合でも、独自で設置する考えである。

ＡＥＤとは？
自動体外式除細動器のこと。
心臓がけいれんし、血液を失った状態（心室細動）になったとき、電気ショックを与え、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器。

ＡＥＤは、講習を受講すれば誰でも使用できます

下水道工事による交通事故を防げ

宮川議員　今年度の下水道事業の施行場所とその距離は。

下水道工事 3工区で実施

村長　古佐井樋口商店から、大町の薬研方面に管渠（三百六十七・八二m）の敷設工事を実施する。また、臨港道路からの接続を三工区に分けて実施する。

工事による交通事故が心配

宮川議員　交通量の多い場所では事故の心配があるが、どのような指導をするのか。

工程会議で指導する

村長　工程会議で迂回路等の案内板を設置し、交通誘導員を配置する等の指導をしていく。

下水道工事のため通行止めになっている道路

戸籍の電子化対応できるか

宮川議員　法務省は戸籍の電子化を推進しているが、村では導入しているのか。また、今後の対応はどうか。

対応できない

村長　現在、導入はしていない。システム導入費に約四千万円を要し、さらに年間百二十万円ほどの維持管理費が見込まれるため、今後も対応できる状況にない。

消防センター建設計画は

宮川議員　消防センターの工事着工までの計画はどうなっているか。

平成20年6月に本体工事の入札

村長　十月から十一月にかけて地質調査と測量を行なう。十一月中旬には実施設計の入札を行い、本体工事の入札は平成二十年六月の予定である。

レポート

村道 福浦川目線 さらなる要望が必要

産業建設常任委員長　宮川　尚

村道福浦川目線道路改良工事は、県代行事業として平成十三年度に第一期工区、福浦側延長四・八kmが完了し、平成十四年度から第二期工区として野平側が事業採択され、引き続き県代行工事として実施している。現在工事中の第二期工区は、延長二・二km、計画幅員六m（全幅八m）、平成二十一年度完了予定、全体工事費九億四千五百万円である。平成十八年度までの工事費は六億五千九百万円であることが産業建設課長から説明された。

平成十九年度は八千六百万円の事業費で、工事費は七千七百七十万円、延長九百六十m、幅員六m（全幅八m）で工事が進んでいるが、盛土、切り土の高低差が大変厳しい場所になっている。残る未整備区間延長二・四kmについては第三期工区として早急に全線整備が完了するよう、県や国に対してさらなる要望活動が重要になってくるものと考える。

高低差の厳しい工事区間

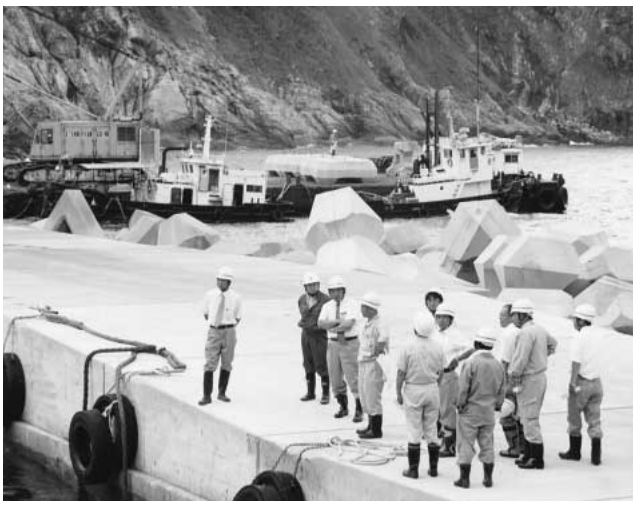
レポート

福浦漁港防波堤 工事は順調

産業建設常任委員長　宮川　尚

福浦漁港第二東防波堤工事は、平成二十三年の完成に向け、天候と風に恵まれた中で工事が行なわれていた。平成十八年度までの工事費は六億七千二百五十四万円で、パラペットなしではあるが九十m完成している。平成十九年度は工事費一億五千万円で十五mが実施されることになっている。また、平成二十年度は十五mを二億円の工事費で要求していることが産業建設課長から説明された。

今後、平成二十年度・二十一年度は堤体、胸壁、腹付工、消波工等の工事が予定されているとのことであるので、完成に向け、計画どおり進むことを望む。



工事が進む福浦漁港東防波堤

あなたの声を議会だよりに！

「さい議会だより」の感想、議会への要望、ご意見、ひとことコメント等をお寄せください。
なお、内容によっては掲載されない場合がありますので、ご了承ください。
原稿は４００字程度にまとめてください。

【郵　　便】〒039-4711　佐井村大字佐井字糠森20　佐井村議会事務局
【ＦＡＸ】0175-38-2492　　【Ｅメール】si-gikai@sai.e-shimokita.jp